

Kendai [秋田県立大学広報誌]

イスタ

Akita Prefectural University

Vol. 7

卒業生

Graduate Interview

インタビュー

03-04

修了生

Graduate Interview

インタビュー

05-06

彼らが県大で勉強した理由

01 NEWS&TOPICS
07 INFORMATION

NEWS & TOPICS

01
全学

本学が「アジア大学ランキング2009」で151位(日本の大学47位)にランクイン!

英国の教育情報会社「クアアカレリ・シモンズ社(QS)」が2009年5月に「アジア大学ランキング2009」を公表し、本学がアジアの大学で151位、日本の大学の中で47位にランクインしました。これはイギリスの新聞社タイムズが、QSと共同で毎年秋に発行している高等教育情報誌「ザ・タイムズ・ハイアー・エデュケーション・サプリメント(The Times Higher Education Supplement)」で2004年から毎年公表されている「THE-QS世界大学ランキング」の評価指標をベースに「学生の海外交流制度」などからアジア大学ランキング独自の評価を加えたランキング。日本の大学のトップは東京大学の3位で、国内の公立大学としては、首都大学東京(48位)、横浜市立大学(55位)、大阪市立大学(63位)に続いて4番目になります。

秋田市・小坂町との連携協力協定を締結

本学は、秋田市と小坂町とこれまででも学と官の立場から相互に連携をしてきましたが、組織的な連携・協力体制を構築し、各種課題への取り組みを可能にするために、1月7日に秋田市と2月26日に小坂町と包括的な連携に関する協力協定を締結しました。今後はこの協定に基づき、それぞれが保有する資源や情報、研究成果等を有機的に活用し、地域社会の発展や産業振興に寄与するため、環境・地球温暖化対策の推進や農林水産業の活性化、活力ある町づくりの推進や人材育成などに取り組みます。



02
全学

平成21年度 学生表彰を行いました

平成21年度秋季学生表彰を12月17日に行い、秋田県立大学竿燈会と佐藤綾さん(生物資源科学部3年)を表彰しました。秋田県立大学竿燈会は、第63回竿燈まつり妙技会において「大若団体規定2位(2年連続準優勝)」、「囃子方団体規定3位」とすばらしい成績を収めました。また、近隣学校のイベントや精神保健福祉全国大会での竿燈紹介などを通じて学内外の方々と交流を深め、本学の評価を高めたことも認められました。また、佐藤綾さんは6月14日に開催された第62回東北弓道大会女子個人戦において、みごと個人優勝に輝き国体強化選手にも選ばれました。また、部長として砂弓会をリードすると共に、弓道を通じて広く県民との交流に努め、本学の評価を高めたことなども認められました。



03
秋田キャンパス

本学学生主催「農業合宿2010春」 県外学生と交流深める

2010年2月19~23日の5日間、薫風・満天フィールド交流塾*大学間交流部門の学生チームが主催し、「農業合宿2010春」を行いました。全国7大学10名の大学生が大潟村に集い、本学学生と共に、「農」や「食」に関する考えを深めました。期間中は、食育や農業の魅力や将来性を話題にグループディスカッションを行い、「食」への関心を広げるために、秋田の郷土料理を参加者で作り味わいました。さらに、地元農家を訪れ、ネギの種まきなどの農業体験を行うことで、各々が農に関する視点を増やしました。(生物生産科学科2年 佐藤文絵)



*「薫風・満天フィールド交流塾」は文部科学省に選定された学生支援プログラム。

04
大潟キャンパス

05
大潟キャンパス

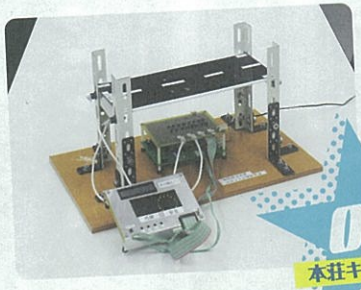
酒蔵と提携、学生の作った酒米が日本酒に

アグリビジネス学科では、酒造会社「山本合名会社 白瀑」(秋田県八峰町)と提携し、同学科の学生が大潟キャンパスの圃場で栽培した酒米を100%使用した、日本酒の商品開発を行いました。できあがった純米酒の名は「耕醸一如(こうじょういちにょ)」。卒業研究で栽培管理、商品開発に取り組んできた小野寺理騎(おののぞりき)さん(平成21年度卒業)は「秋田には美味しい酒があるが、農家と酒蔵の結びつきは十分とはいえない。商品名には、米作り(耕すこと)と酒作り(醸すこと)がともに発展していける形を提案したいという願いを込めた」と語ってくれました。2010年4月から、秋田県内の一部酒販店にて販売しています。お問い合わせは、山本合名会社まで。



ロボット工学研究室が県発明展で知事賞を受賞

「第58回秋田県発明展」が11月7~8日に県生涯学習センターで開催され、機械知能システム学科のロボット工学研究室(水越誠さん:当時4年生、下井信浩教授、石井雅樹助教)が出演した「簡易型安全評価センサシステム」が、秋田県知事賞(一般の部)を受賞しました。このシステムは、震災等により建築構造物に安全保障強度以上の応力が生じた際、破損等の危険度を簡易的な手法で判断することを目的としたものです。簡易的な振動センサとマイコンボードの組み合わせにより、構造物の締結部にかかる応力を定量的に計測、表示します。簡易に設置できるうえ、遠隔地から危険度を判定できることも特徴です。



06
本荘キャンパス

熊谷准教授が「秋田わか杉科学技術奨励賞」を受賞

機械知能システム学科の熊谷誠治准教授が「平成21年度秋田わか杉科学技術奨励賞」を受賞し、10月16日に県高度技術研究所で表彰式が行われました。この賞は、若手研究者の研究意欲をさらに高め、優れた若手研究者が持続的に生まれることによって、秋田県の新産業・新事業が創出されることを目的に、秋田県が創設したものです。熊谷准教授の研究テーマは「もみ殻に由来する高機能活性炭の開発」。稲作地域で発生するもみ殻を利用し、安全性が高く、高機能な活性炭を製造する研究に取り組み、その成果は燃料油中の硫黄化合物の除去や、水処理等の分野での応用が期待されます。



07
本荘キャンパス

木製ダムの研究開発の取り組みが首都圏を走る電車内で紹介されました

環境省主催の「ストップ温暖化一村一品大作戦2009」で特別賞を受賞した「秋田スギの木製ダムでCO2ダイエット」の研究開発の取り組みが、首都圏を走るJR山手線、東急沿線の「トレインチャンネル」で放映されている「エコアイデアワールド」(パナソニック株式会社提供)で2009年10月19日から1週間紹介されました。これは環境にやさしくするための提案や、実際に行われている取り組みを紹介していく番組で、秋田スギの間伐材を使用した木製ダムは、資源の有効利用だけでなく木材が吸収したCO2を長年固定できるなど、CO2の排出も減らせる方法として取り上げられました。



08
木材高度加工研究所

アスパラガス摘取器具の開発

システム科学技術学部：機械知能システム学科

研究グループ名 農作業支援メカニクス研究グループ

Q 研究の目的を教えてください。

A 農作業の多くは、収穫の際にしゃがまなければならないので、高齢化が進む農業従事者にとっては大きな負担となります。一方で、食の安全性を考えると農業者が直接収穫に関わるのは重要なことです。そこで、農業者が直接、かつ簡単に収穫を行える道具があれば良いと考えました。この研究では、摘取作業が大変なアスパラガスの収穫を取り上げ、立ったままで快適に摘み取りが出来るような器具を開発することを目的としました。

Q 研究の内容について教えてください。

A まず、地面近くにあるアスパラガスを切断できるよう、市販の高枝はさみを改造して機構を追加します。また、はさみがアスパラガスを切断するのに合わせて、アスパラガスを掴む機構も同時に動くように取り付けます。これにより、立ったままでアスパラガスを収穫することができるようになります。次に、器具と人の手を含めた力学モデルについて考え、操作性と力の負担の両面から器具の使いやすさを検討します。この結果をもとに、役に立つ器具の開発を目指します。

Q 研究の楽しさ・やりがいは？

A 最終目標を自分たちで設定出来るため、目標に応じてたくさんの知識を身に付けることができます。また、自分たちの意見がそのまま研究に通じることにより、やりがいを感じます。先生や先輩たちの意見をいただけるので、研究を通じて様々な知識や考えを身に付けられる事に楽しさを感じます。



機械知能システム学科1年
Haruki Hirayama

機械知能システム学科1年
Kanta Sawaguchi

平山 晴貴

岩手県出身
盛岡北高校

失敗した分だけ成功した時の喜びが大きいことを知りました。

澤口 寒太

岩手県出身
盛岡北高校

色んな視点から物事を見ることでより良いことに結びつくことがあると学びました。

学生自主研究 Student Research Collection

アクティブに挑戦する学生たちを紹介。

学生自主研究は1、2年生が興味を持ったテーマに対して、自分たちでグループを組織し、計画を立て実施する制度。大学から研究費が交付され、教員からのアドバイスも受けられます。

Isuna.

特産物を使用したスイーツ商品開発

生物資源科学部：アグリビジネス学科

研究グループ名 New Sweets研究会

Q 研究の目的を教えてください。

A 秋田には、米をはじめ多くの特産品があります。それらを活かした新たなスイーツを大潟村のお菓子屋さんと協力しながら開発してみたいと思いました。商品企画から製作・販売を実践し、商品開発のプロセスを学び、新しい商品開発・地域振興のあり方についても考える。若者の目線を秋田の商品開発に活かし、新たな「売れる商品」を創り出す可能性と、そのための条件を明らかにすることを目的としました。

Q 研究の内容について教えてください。

A 企業等との懇談会を行い、商品開発のための課題発見・確認をします。実態調査として秋田の特産品調査・加工場視察をし、それにより、商品企画・試作品作成（商品開発の実践）をします。できたものは新商品の試食会（商品化・販売への検討）を開き、最後はアンケート調査による試食者の評価のフィードバックまで行います。



Q 研究の楽しさ・やりがいは？

A 1つの商品を自分達の手で作れることや、スイーツが食べられること（笑）。また、秋田の中にどのような特産品があるか知ることが出来ることです。作ることでだんだん商品が見えてきたり、失敗を繰り返しながら上達しているのを実感したときに楽しさや、やりがいを感じています。

Q 学生自主研究を通して、得るものがありましたか？

A 原価計算の大変さや、日持ちするものと考えていかなければならないこと。そして新発売として販売されているものが苦勞してできていると実感できることや、誰もが食べたいと思うものを作り出す難しさを知ったことです。



アグリビジネス学科2年
Daisuke Kato

アグリビジネス学科2年
Hitomi Nagatsu

アグリビジネス学科2年
Tomoyo Ito



長津 瞳

新潟県出身
新発田農業高校

料理が好きです。自分の手で新たなものを手がけたい、秋田に新しいスイーツを。

加藤 大輔

秋田県出身
西仙北高校

美味しいものが食べたくて

伊藤 朋世

秋田県出身
秋田明徳館高校

腹が減っては、戦はできぬ

彼らが県大で勉強した理由

卒業生インタビュー GRADUATE INTERVIEW

REASON
01

松井 大輔
DAISUKE MATSUI

- 出身県/新潟県
- 出身高校/長岡大手高校



機械知能システム学科



4年間ずっと続けたアルバイトは社会勉強として貴重な経験に。就職活動にも役立つのでオススメです。

就職内定先

東日本旅客鉄道株式会社

「安全」を経営の最重要課題として、「お客さまの死傷事故ゼロ、社員の死亡事故ゼロ」を目指し、絶えざる挑戦を続けている企業です。

Q 大学生活で一番印象に残ったことは？

A アルバイトです。大学生活4年間ずっと続けました。アルバイトは社会勉強になり、今後の就職活動、また、就職後にも役立つ貴重な経験をすることができます。日々の勉学に支障をきたさない程度にアルバイトをすることをオススメします。

Q 印象に残っている研究、授業等は？

A 卒業研究です。私が行った研究は「交通事故シミュレーションの構築」です。新規のテーマで前任者がおらず、世の中でも最近研究が始まったばかりなのでどのように研究を進めればよいか分からず、手探り状態で大変でした。しかし、何か一つのことに関与できるのは大学生活ではなかなか無かったので良い経験になりました。

Q 卒業後の目標は？

A 大学を卒業し就職したら学生ではなく社会人になり、自分で行ったことには責任を持たなくてはならないので、いつまでも学生気分であることなく、一社会人としての自覚をしっかりと持ち、責任を持って仕事に取り組んでいきたいと思っています。

REASON
02

佐々木 悠介
YUSUKE SASAKI

- 出身県/秋田県
- 出身高校/横手高校



電子情報システム学科



「何が大事か、何を重視するのか」。就職活動では周りに流されず、自分の軸を持って頑張ってください！

就職内定先

株式会社ユアテック

株式会社ユアテックは、東北電力のグループ企業であり、電力流通設備から、電気・空調設備、情報通信まで幅広い事業領域を持つ「総合設備エンジニアリング企業」です。宮城県(仙台市)に本社を置き、東北を中心に事業展開を行う東北最大の設備工事会社になります。

Q 大学生活で一番印象に残ったことは？

A 就職活動です。自分を見直す良い機会になり、改めて自分の長所や短所を見つけることができ、それらを相手に伝えられるようにもなりました。そのため、就職氷河期と言われていましたが、自分の希望する企業から内定をいただくことができました。

Q 印象に残っている研究、授業等は？

A 高校教員免許取得のため、長期休暇や土・日・祝祭日に行われる集中講義や特別講義です。教職科目の単位は卒業単位に含まれず、両方の単位を並行して取得しなければいけなかったため、とても大変でしたが、途中で諦めることなく免許を取得することができました。

Q 先輩へのメッセージ

A 就職活動をするにあたって、「何が大事か、何を重視するのか」を自分でしっかり考え行動することがとても大切だと思います。周りの意見や情報ばかりに流されずに、自分の軸を持って就職活動を頑張ってください。

REASON
03

佐藤 洋史
HIROSHI SATO

- 出身県/山形県
- 出身高校/山形南高校



建築環境システム学科



1年次の設計課題。初めてのグループ課題は、互いの意見を尊重しあうことで良い作品になったと思います。

就職内定先

清水建設株式会社

スーパーゼネコンの一つで、世界各国で様々な建築物を手掛けており、秋田では秋田県立大学の秋田キャンパスや男鹿水族館GAOなどを施工しています。

Q 県大の良いところ

A 建築環境システム学科は学年の壁を超えて、みんな仲が良いところです。新入生歓迎会も盛大なので入学してすぐ仲良くなれます。また、建築のサークルや学科内で開催する運動会、球技大会(の打ち上げ)など様々な活動を通じて、さらに親睦を深めることができます。

Q 印象に残っている研究、授業等は？

A 一年次の設計課題「ダンボールハウス」です。限られた量の段ボールを用いて、実際に人が入れるスケールで、採光、換気、断熱を考慮した快適な読書空間を設計しました。初めてのグループ課題で、意見がぶつかる場面もありましたが、お互いの意見を尊重しあうことでより良い作品が完成したと思います。

Q 卒業後の目標は？

A 建築施工管理士として楽しい現場づくりを心掛けていきたいです。曇田気の良い現場でなければ良い建物をつくることはできません。職人一人一人の考えや気持ちを大切に、みんなに信頼される施工管理士になりたいです。

REASON
04

宮崎 薫子
YUKIKO MIYAZAKI

- 出身県/静岡県
- 出身高校/浜松市立高校



経営システム工学科



勉強、研究、遊び、アルバイト...思い出に残る学生生活のために、今しかできないことをやってみてください。

就職内定先

浜松市役所

浜松市は、工業製品、豊かな自然や温暖な気候、音楽文化や各地域に継承された伝統文化などの街です。また、2007年に政令指定都市となり、「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」の実現を目指しています。

Q 県大の良いところ

A 就職活動のサポートが行われていることです。就職情報センターやガイダンスが実施されているので、就職活動について分からないことなど教えてもらえる点が良いと思います。学内外の講師の方の「ためになる」話や、履歴書の添削、個別の面接練習をしてもらえるのでとても助かりました。

Q 印象に残っている研究、授業等は？

A 外部講師による、折り紙を用いた多面体の講義です。折り紙のユニットを組み合わせることで作る多面体では、枚数、折り目、組み立て方により異なった多面体ができます。多面体と聞くと難しく感じられるけれど、折り紙を用いているので興味がわき、楽しく学ぶことができました。

Q 先輩へのメッセージ

A 勉強、研究、遊び、アルバイトなどは学生だからこそできる経験だと思います。大学での時間を大切に、そこで出会った仲間と過ごすことで、思い出に残る学生生活が送れると思います。今しかできないことをやってみてください。

「県立大学でどんなことを勉強したの?」「大学生活ってどんな感じ?」
そんな素朴な疑問を、この春社会へ巣立つ卒業生・修了生にインタビュー!!

ISUNA.

REASON
05

田村 佳奈

KANA TAMURA

- 出身県/岩手県
- 出身高校/盛岡北高校



応用生物科学科



何事にも積極的に挑戦し、
充実した大学生活を
送ってほしい。

就職内定先

森永乳業株式会社

牛乳、乳製品、アイスクリーム、飲料、その他の食品を製造、販売する食品企業です。「おいしい」をデザインする」をコーポレートスローガンに、発想力と技術力にあふれた商品は、日本のみならず世界の人々の食卓に欠かせない味として親しまれています。

Q 県大の良いところは?

A 大学の教職員の方々がとても親身であるところが県大のいいところだと思います。先生方は研究室という垣根に関わらず気軽に声をかけてくれ、多くの先生とコミュニケーションが取れ、たくさんの情報を得ることができました。事務局や就職センターの職員の方々も様々な場面で支えてくれ、感謝しています。

Q 印象に残っている研究、授業等は?

A 1年生の時に「クラブアップルの美味しく体にいい調理加工法」の研究、2年生の時に「ダイエット米の開発」の自主研究を行いました。成分測定から加工品の開発まで行い、昔からのやりたいことだった機能性食品の開発が出来たことがとてもうれしく印象に残っています。

Q 卒業後の目標は?

A 仕事も日常生活も全てに対して全力で取り組み、充実した生活を送りたいと思います。また、アンテナを大きく広げ様々な新しい知識を増やしていきたいと思っています。いつまでも学ぶ姿勢は持ち続けていきたいです。

REASON
06

吉田 裕也

YUYA YOSHIDA

- 出身県/秋田県
- 出身高校/秋田中央高校



生物生産科学科



いろいろな知識や
経験を吸収し、
広い視野を持ってほしい。

就職内定先

全国共済農業協同組合連合会秋田県本部

農業協同組合の理念である「相互扶助」のもとに事業活動を展開し、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供によって組合員や利用者の豊かな生活づくりに努め、それを通じて安心して暮らせる地域社会をつくっていくことを目指しています。

Q 県大の良いところは?

A 教授一人に対する学生数が少ないため教授たちとコミュニケーションをとる機会が多く、就職のことや学業面で悩みや疑問がある場合にも気軽に相談できるところだと思います。

Q 印象に残っている研究、授業等は?

A 二回生のときの圃場実習が印象に残っています。この実習を通じて自分が農業とどのように関わっていきたいのかを深く考えることができ、そのことが、それまで曖昧だった卒業後の進路を決める最も大きな要因となりました。

Q 卒業後の目標は?

A まずは、社会人としての生活に早く慣れることです。それから、これまで感謝してもらえないほど迷惑や負担をかけ、それでも私を支えてくれた家族に恩返しをしたいと思っています。

REASON
07

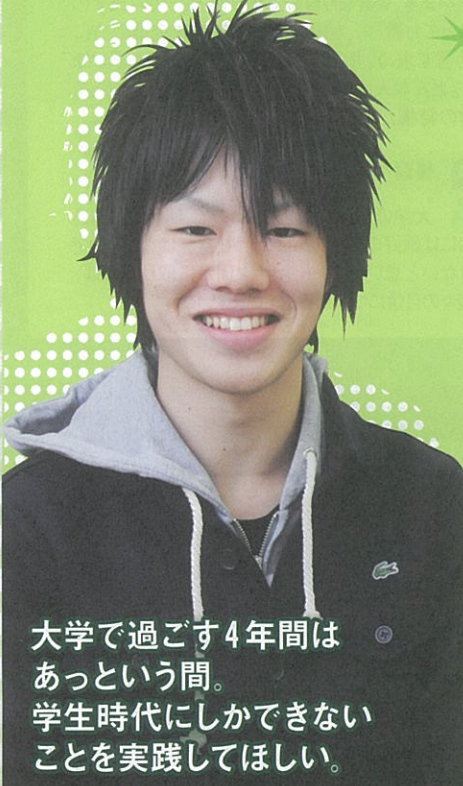
坂田 基

HAJIME SAKATA

- 出身県/群馬県
- 出身高校/白鷗大学付属足利高校



生物環境科学科



大学で過ごす4年間は
あっという間。
学生時代にしかできない
ことを実践してほしい。

就職内定先

武田薬品工業株式会社

武田薬品は、研究開発型の日本発の世界的製薬企業として、「優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する」ことを目指した事業活動を行っています。

Q 県大の良いところ

A 県大の良いところは、学生と教授との距離が近いところだと思います。そのため、サークルを通して教授と仲良くなることができ、教授も学生の顔を覚えてくれます。そうすることで、文化祭等のイベントも一緒に楽しめるというのが県大の良さだと思います。

Q 印象に残っている研究、授業等は?

A 「まつりが地域コミュニティに果たす役割」です。大学に入学してから4年間竿燈をしていたので、それまでに得てきた知識と地域活性化を絡めた研究はとてもやりがいがありました。また、研究を通して竿燈会の人達や、地域の人達との間にできた人脈も宝物になっています。

Q 卒業後の目標は?

A 私の卒業後の目標は、会社でNo1になることです!何百人も同期がいる中で、1番になることは大変なことだと思います。しかし、竿燈をはじめ、この大学で学んだことはたくさんあります。その経験を活かして、会社でも仲間たちと切磋琢磨して、お互いを高め合えたらと考えています。

REASON
08

後藤 智美

TOMOMI GOTO

- 出身県/秋田県
- 出身高校/湯沢高校



アグリビジネス学科



自分の取り組み方次第で
充実した大学生活に。
目標を持って
頑張ってください。

就職内定先

株式会社秋田銀行

秋田県秋田市に本店を置く地方銀行です。「地域とともに歩み、地域の発展とともに栄える銀行」を目指し、地元企業への積極的な支援を通じて地域経済の活性化の促進、地元の人々の満足する高い水準のサービスを提供しており、経済の面から秋田を支えています。

Q 県大の良いところ

A 少数人数教育を実施しているところ。自分が興味を持ったことや講義中の疑問点を先生方に質問しやすく、勉強や研究のやる気に繋がります。先生方の細かなサポート体制があるので自分が興味を持った研究に全力で取り組むことができます。

Q 印象に残っている研究、授業等は?

A 牛の体外受精技術に関する研究です。これは、私の卒業論文の大きなテーマでもあり、将来的にとっても有望な技術である体外受精技術を、県立大学アグリビジネス学科で発展させていこうという内容です。

Q 卒業後の目標は?

A 県立大学で学んだことを活かして、社会人としてがんばっていきなさい。県立大学では、目標を持ってそれに向けて努力することを学んだので、卒業後は今よりもさらに成長できるよう頑張っていきたいです。

彼らが県大で勉強した理由

修了生
インタビュー
GRADUATE INTERVIEW

REASON
01

松本 直美

●出身県/長野県
●出身高校/佐久長聖高校

NAOMI MATSUMOTO

Q 大学院では、どんな研究に取り組みましたか？

A 「磁気駆動アークの熱流分布の理論・実験研究」について研究しました。プラズマアークに交流磁場を印加することで、熱流分布の制御が可能になります。この磁気駆動アークの開発によって、大面積の加熱・溶融を行う金属材料処理加工などへ利用が拡大し、環境問題の解決にもつながります。

Q 6年間で一番印象に残ったことは？

A Himalaya Projectでの活動です。ネパールやモンゴルなど電気のない場所に、エコでクリーンな太陽光発電装置の設計・製作・設置を行いました。このなかで、モノづくりの難しさや仲間と協力することの重要性、海外の方とのコミュニケーションの取り方など、多くの経験ができました。

Q 今後の目標は？

A 学生生活で得た知識や経験を活かし、柔軟な発想と精神を持った技術者になりたいと思います。これまでとは異なる分野に進みますが、多くの人との出会いや経験をひとつひとつ積み上げていき、社会人として大きく成長していきたいと思っています。

Q 県大の良いところは？

A 学生が興味を持った事について、1・2年生のうちから研究できる点です。それを行えるだけの設備、協力して下さる先生方が多く、学生の積極性を活かし、研究を進めていけます。また少人数教育であるため、先生との距離が近く、十分な指導をしていただける環境だと思います。

Q 後輩へのメッセージ

A 学生生活で興味を持った事に、積極的に取り組んでください。勉強や研究に限らず、今しか出来ないことをすることで、人との出会いや貴重な経験を積むことができます。県立大に入学したからこそ、この場所だからこそ出来ることに取り組み、精一杯楽しみ、有意義な学生生活を送ってください。

海外での活動を通して、モノづくりの難しさや仲間と協力することの重要性など、多くのことを学びました。

就職内定先

株式会社 日立製作所

「社会が変わる、日立が変わる」という理念の下、知識と情報技術を中心とした先端技術によって、常に、新たな価値と可能性をもった製品、システム、サービスを提供し続け、豊かな人間生活とより良い社会の実現をめざす企業です。



機械知能システム学専攻

REASON
02

倉橋 貴大

●出身県/愛知県
●出身高校/豊田南高校

TAKAHIRO KURAHASHI

Q 大学院では、どんな研究に取り組みましたか？

A 窒素同位体比を用いた、大気中の浮遊粒子状物質の動態解析を行いました。同位体比を使った粒子の研究は、世界でもまだあまり行われておらず、分析方法やサンプリング方法など手探りで作っていきました。研究の後半は、得られた結果の解析を行いました。粒子自体の研究は歴史があり、それと新しいものを組み合わせて考察するのは、先生と共に大変苦労しました。

Q 6年間で一番印象に残ったことは？

A 同位体の実験精度が必要値まで向上せず、夏休みの間、ほとんど毎日夜中の2~3時まで実験し、それからファストフード店に行って先生と議論する生活をしていました。乾いたタオルを更に絞るようにアイデアを出す苦しい期間でした。見かねた店長さんが差し入れてくれたコーヒーは良い思い出です。

Q 今後の目標は？

A 就職先と研究内容は全く違いますが、大切なことは同じで、とにかく地道に調べ、取り組み続けること、視野を広く持つことだと思っています。特にこれからは、日本がTPPIに参加した場合などに、農業のあり方がより大きく変化してしまうと思われます。その時、地域の農業をどう強くするか提案できるようにになりたいです。

Q 県大の良いところは？

A 1年生から研究に携わる機会があることだと思います。いきなり自分で何か成果を生み出すのはとても難しく、始めは色々な先生や企業の方に助言を求め、指導してもらうことになると思います。どんな人からも学べるというのは、大学ならではの特権だと思います。

Q 後輩へのメッセージ

A 大学の周りには何もないので、何かに打ち込むには絶好の環境で、このような経験はなかなかできないと思います。一生懸命何かに取り組みれば、後々の自信につながると思います。

真夜中、ファストフード店でアイデアを絞り出す苦しい時間。店長さんが差し入れてくれたコーヒーは良い思い出。

就職内定先

JAあいち豊田

全国にあるJAの一つです。地域に密着し、農業から金融、保険など様々な分野で活動しながら、地元へ貢献しています。



経営システム工学専攻

サークル
紹介

男子バレーボール部

練習日が多くてもなんのその(^3^)/



代表代理: 生物生産科学科

渡辺 恭平

KYOEI WATANABE

●出身県/秋田県
●出身高校/本荘高校

練習はどこで、どのように行っていますか？

毎週月・水・土曜日に学内にある体育館で行っています。大会が近くになれば基本的な練習を主に行っていて、練習の後半はみんなで試合形式のゲームをしています。他のサークルに比べると1週間あたりの練習日が多いらしく、みんなは大変そうだと思いますが、基本は楽しくワイワイやっていて、適度に体も動かすことができるので難しく感じることはないですね(^3^)/



今後の活動予定や、サークルのPRをお願いします。

今後は積極的に大学連盟以外の大会にも参加し、地域や一般の方達との交流する機会を増やし、大学生らしい部活動を展開していきたいと思っています。それと、部員がもっと沢山いれば今よりも数倍楽しく部活や懇親会ができると思うので、初心者の方でも経験者の方でも大歓迎なので体育館まで遊びに来てください(^w^)/

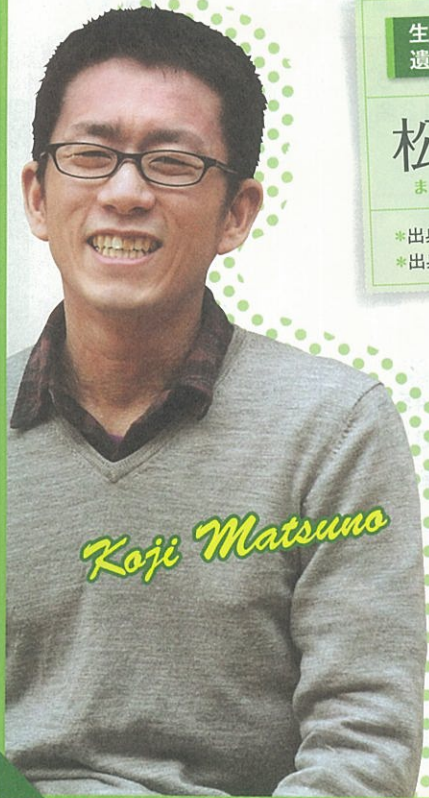
大会へ出場したときのエピソードや、受賞歴について教えてください。

岩手県での大会に参加したとき、シューズを忘れたことに会場に着いてから気づき、試合開始直前に会場近くのスポーツ用品店に買いに行ったことと、同じ日に別の部員が「シューズが無い」と宿で騒いでいて、本当になかったらしく、困っていました。翌日会場の駐車場に着くとそこには前日の雨に打たれず濡れになったシューズがぼつんとあったことです。受賞歴としては、3年前の春秋リーグ優勝、2年前の秋リーグで優勝し2部昇格を果たしました。最近では一般の大会に参加し優勝しました。





言葉が通じない中国での現地調査が、自分を鍛えてくれました。



Koji Matsuno

生物資源科学研究科
遺伝資源科学専攻

松野 孝治
まつの こうじ

*出身県……愛知県
*出身高校……岡崎西高校

***就職内定先…ダイセキ環境ソリューション**

土壌汚染の調査や浄化を行っている会社です。大学での研究を通して環境に貢献できる分析業に興味を持ちました。実家近くに本社があり、会社の雰囲気も良かったのでこの会社を志望しました。



- Q 大学院では、どんな研究に取り組みましたか？**
A 卒業論文・修士論文で中国山西省の塩成土壌を研究しました。現地に行き、サンプリングを行ったことが一番印象に残っています。言葉が通じない中でどうにかサンプリングができたことで、自分を鍛えられた気がします。
- Q 6年間で一番印象に残ったことは？**
A 友人と一緒に「松原クリーンアップーズ」という海岸清掃を行うサークルを立ち上げたことです。企画を立てたり、メンバー募集したりと初めての事だらけで苦労しましたが、いっしょに苦労した友人とは、とてもいい友達になれました。
- Q 今後の目標は？**
A 分析の技術者になりたいです。分析機器を一人で扱えるようになったり、実験がうまくできるようになったりする中で、分析っておもしろい

- と思うようになりました。仕事を通して、さらなる分析技術や知識を身につけていきたいです。
- Q 県大の良いところ。**
A 大学の規模が小さいので、先生方との距離が近く話しやすいところです。また、大学が新しいので、サークル活動や学生自主研究などいろいろなことに挑戦できます。
- Q 後輩へのメッセージ。**
A 大学生活はいろいろなことに挑戦すべきだと思います。失敗してもいい経験になるので、興味のあることに積極的に取り組んでみるべきです。人生に(たぶん)一度しかない大学生活なので、大学を有効活用していろいろなことに挑戦してください。



最先端の研究者と一般の人々の間の、「架け橋」のような存在を目指しています。

生物資源科学研究科
生物機能科学専攻

庄司 宣夫
しょうじ のぶお

*出身県……福島県
*出身高校……福島高校

***就職内定先…(財)日本食品分析センター**

食と環境を守るため、分析試験を通して「健康と安全」をサポートし、社会の進歩・発展に貢献することを目指す中立・公正な分析試験機関です。近年、食の安全に関する注目は非常に高く、企業から寄せられる多くの社会問題を解決すべく、技術の研鑽と情報の集約に努めています。

- Q 大学院では、どんな研究に取り組みましたか？**
A 鶏に対するサルモネラ感染防御用CE剤(競合的排除剤)の開発・研究が非常に興味深く、3年間研究できたことが非常に楽しかったです。サルモネラ食中毒は、鶏肉・鶏卵が主因で、死者も出ることから、その予防は重要であり、鶏のひなでサルモネラ汚染を食い止め、社会に貢献できると思うと非常に有意義でした。
- Q 6年間で一番印象に残ったことは？**
A アルバイトを学部1年から大学院2年までずっと続けていた中で、サークル活動を3つ掛け持ち、受講したい講義は単位が十分でも取得し、研究も行いながら、就職活動も全力投入!そして精一杯遊ぶ(笑)。何でもやりたいと思ったことに時間を上手く使って、果敢にチャレンジできたことです。
- Q 今後の目標は？**
A 食の安全を守るために、分析試験などを通じて科学技術や情報を習得

- したいです。また、科学離れや難解であると思っている一般の方にも、わかりやすく噛み砕いた科学情報を提供し、最先端の研究者と一般の人々の間の「架け橋」のような存在を目指しています。
- Q 県大の良いところ。**
A 最新設備がそろっているので、研究を行う上で様々なアプローチができます。また、少人数教育で優秀な先生方と非常に距離が近く、学科を超えて相談もできるので、とても研究がしやすい環境です。
- Q 後輩へのメッセージ。**
A 県立大学は理系として研究を行う上で、すごく恵まれている環境だと思います。しっかりとした考えを持って学生生活を送れば、卒業する頃には入学した頃の自分とは、良い意味で違う自分になっているはずです。県立大学に入学したことを誇りに思って、精一杯勉強して、学生らしく思いっきり遊んで、有意義な学生生活を送ってください。



Nobuo Shoji



体験学習イベント「創造学習」

ものづくりや科学に対する関心を高めるための体験学習も行っています。

学内学習 (在学生向け)
 在学生を対象に、専門分野の講義を補完するような講座、他分野を楽しみながら体験できる講座など、講義では体験できないような講座を実施しています。

地域学習 (小中高生向け)
 地域の小中高生を対象とした科学教室を開催しています。昨年8月には17テーマに約170人の子どもたちが参加、県立大生も80人以上が指導役となりました。



「イスナ」は、秋田弁で「良いですね」という意味。人材育成・研究開発を通して、地域社会の発展のために「良い」ことを発信していきたいという願いを込めています。これからも応援よろしくお願いします。

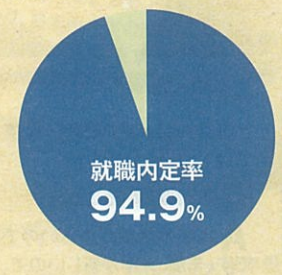


進路情報! (平成22年3月31日現在)

県立大学

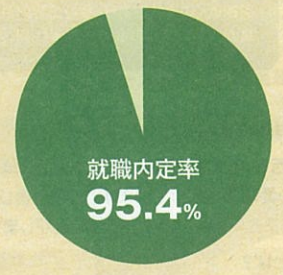
平成21年度秋田県立大学の卒業生(第8期生)373名のうち就職希望者は245名(65.7%)、大学院進学希望者は113名(30.3%)、その他(専門学校進学等)15名(4.0%)です。

就職希望者137名
就職内定者130名



システム科学技術学部

就職希望者108名
就職内定者103名



生物資源科学部

就職内定率
(平成22年3月31日現在)

95.1%

第8期生の就職希望者245名のうち、平成22年3月31日現在の内定者は233名で、内定率は95.1%です。

★学部卒業生の主な就職内定先

■システム科学技術学部

ADK富士システム(株)、秋田県庁、安藤建設(株)、岩手県庁、(株)大林組、(株)協和エクシオ、スタンレー電機(株)、セイコーエプソン(株)、(株)大栄木工、西日本旅客鉄道(株)、西松建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立エンジニアリング・アンド・サービス、(株)フジタ、(株)北都銀行、本田技研工業(株)、三菱重工業(株)、(株)ユアテック、郵便事業(株)、ヨネックス(株)

■生物資源科学部

(株)VDFサンロイヤル、秋田おほご農業協同組合、(株)秋田銀行、秋田県農業協同組合中央会、イカリ消毒(株)、応用地質(株)、片倉チッカリン(株)、杏林製菓(株)、極東製菓工業(株)、社会医療法人明和会、(株)十文字チキンカンパニー、生活協同組合コープあきた、全国共済農業組合連合会秋田県本部、全国農業協同組合連合会岩手県本部、(株)タカヤナギ、(株)ニチレイフーズ山形工場、日糧製パン(株)、ニプロファーマ(株)大館工場、東日本旅客鉄道(株)秋田支社、(株)ヤマダフーズ

県立大学大学院

平成21年度秋田県立大学大学院(博士前期課程)の修了生56名のうち就職希望者は51名(91.1%)、大学院博士後期課程進学希望者は3名(5.4%)です。

就職希望者35名
就職内定者35名



システム科学技術研究科

就職希望者16名
就職内定者15名



生物資源科学研究科

就職内定率
(平成22年3月31日現在)

98.0%

就職希望者51名のうち、平成22年3月31日現在の内定者は50名で、内定率は98.0%です。

★大学院修了生の主な就職内定先

■システム科学技術研究科

(株)INAX、王子製紙(株)、(株)ジェイテクト、中国電力(株)、東北電力(株)、日立建機(株)、(株)日立製作所、(株)ブリヂストン

■生物資源科学研究科

新政酒造(株)、稲畑香料(株)、(株)三和化学研究所、(財)日本食品分析センター、(株)ダイセイ環境ソリューション、日本生活協同組合連合会



<http://www.akita-pu.ac.jp/>
 E-Mail: koho_akita@akita-pu.ac.jp

【秋田キャンパス】

●本部・生物資源科学部 ●大学院/生物資源科学研究科
 〒010-0195 秋田市下新城中野字街道西241-438
 TEL.018-872-1500 FAX.018-872-1670

【本荘キャンパス】

●システム科学技術学部 ●大学院/システム科学技術研究科
 〒015-0055 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
 TEL.0184-27-2000 FAX.0184-27-2180

【大湯キャンパス】

●生物資源科学部(アグリビジネス学科3・4年次)
 〒010-0444 南秋田郡大湯村字南2-2
 TEL.0185-45-2026 FAX.0185-45-2377

【木材高度加工研究所】

〒016-0876 能代市宇海詠坂11-1
 TEL.0185-52-6900 FAX.0185-52-6924

